

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社パイオラックス 上場取引所 東  
 コード番号 5988 URL <http://www.piolax.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理グループリーダー (氏名) 郷原 慎一 TEL 045-731-1211  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	47,619	7.5	6,959	9.6	7,727	10.3	5,494	12.0
27年3月期第3四半期	44,309	9.8	6,350	12.3	7,007	11.4	4,906	9.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,500百万円 (△29.1%) 27年3月期第3四半期 6,345百万円 (1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	460.25	-
27年3月期第3四半期	394.44	-

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
28年3月期第3四半期	85,585		73,571		84.5	
27年3月期	82,794		69,877		82.9	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 72,347百万円 27年3月期 68,610百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	27.50	-	32.50	60.00
28年3月期	-	35.00	-		
28年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	5.9	8,300	2.7	8,800	△4.4	5,900	△6.4	494.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	13,084,700株	27年3月期	13,084,700株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,146,277株	27年3月期	1,146,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,938,468株	27年3月期3Q	12,438,559株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(参考資料) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、年明け後の為替レートの円高傾向、中国をはじめとした新興国の景気減速などの不安要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外では米国を中心に好調を持続しておりますが、国内では輸出は好調なものの4月からの軽自動車税増税等の影響等により、国内生産台数は9,278千台と前年同期比5.1%の減少となりました。このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルな拡販活動を継続的に推進した結果、売上高は47,619百万円と、前期比3,309百万円(7.5%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、営業利益は6,959百万円(前期比9.6%増)、経常利益は7,727百万円(前期比10.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,494百万円(前期比12.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

グローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は44,749百万円(前期比7.4%増)となりました。一方利益面においては、増収効果に加えより一層の合理化改善活動を推進したことにより、営業利益は7,362百万円(前期比9.0%増)となりました。

(医療機器)

新製品が好調な販売を呈し、売上高は2,870百万円(前期比9.2%増)となりました。一方利益面においては、増収効果等から、営業利益は137百万円(前期比3.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は、現金及び預金、投資有価証券の増加等により2,790百万円増加し、85,585百万円となりました。

負債合計は、未払法人税等、引当金の減少等により903百万円減少し、12,013百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加等により3,694百万円増加し、73,571百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,438	18,886
受取手形及び売掛金	13,377	13,256
電子記録債権	974	1,214
有価証券	287	287
商品及び製品	4,251	4,326
仕掛品	1,738	1,768
原材料及び貯蔵品	1,788	1,842
その他	2,309	2,212
貸倒引当金	△61	△62
流動資産合計	41,104	43,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,118	8,049
機械装置及び運搬具(純額)	8,140	7,459
工具、器具及び備品(純額)	2,590	2,615
土地	5,222	5,170
リース資産(純額)	78	68
建設仮勘定	1,387	1,053
有形固定資産合計	25,538	24,417
無形固定資産		
のれん	7	4
その他	869	815
無形固定資産合計	876	820
投資その他の資産		
投資有価証券	13,946	15,283
その他	1,328	1,330
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,274	16,614
固定資産合計	41,689	41,852
資産合計	82,794	85,585

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,027	2,986
短期借入金	1,228	1,015
未払法人税等	1,038	576
引当金	810	411
その他	3,702	3,521
流動負債合計	9,807	8,512
固定負債		
退職給付に係る負債	174	202
資産除去債務	18	18
その他	2,915	3,280
固定負債合計	3,109	3,500
負債合計	12,916	12,013
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,697
利益剰余金	59,973	64,662
自己株式	△2,836	△2,837
株主資本合計	62,794	67,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,675	2,256
為替換算調整勘定	4,281	2,725
退職給付に係る調整累計額	△140	△119
その他の包括利益累計額合計	5,815	4,862
非支配株主持分	1,266	1,224
純資産合計	69,877	73,571
負債純資産合計	82,794	85,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	44,309	47,619
売上原価	31,404	33,433
売上総利益	12,905	14,186
販売費及び一般管理費	6,554	7,226
営業利益	6,350	6,959
営業外収益		
受取利息	44	42
受取配当金	40	48
持分法による投資利益	555	570
その他	162	201
営業外収益合計	802	863
営業外費用		
支払利息	45	44
デリバティブ評価損	60	—
固定資産廃棄損	14	21
賃貸収入原価	5	7
その他	19	21
営業外費用合計	146	95
経常利益	7,007	7,727
税金等調整前四半期純利益	7,007	7,727
法人税等	2,050	2,180
四半期純利益	4,957	5,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,906	5,494

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,957	5,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	609
為替換算調整勘定	926	△1,544
持分法適用会社に対する持分相当額	174	△110
その他の包括利益合計	1,388	△1,046
四半期包括利益	6,345	4,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,246	4,541
非支配株主に係る四半期包括利益	98	△40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	41,682	2,627	44,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	41,682	2,627	44,309
セグメント利益	6,752	133	6,885

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,885
全社費用(注)	△569
セグメント間取引消去	45
その他の調整額	△11
連結損益計算書の営業利益	6,350

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	44,749	2,870	47,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	44,749	2,870	47,619
セグメント利益	7,362	137	7,500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,500
全社費用(注)	△574
セグメント間取引消去	44
その他の調整額	△10
連結損益計算書の営業利益	6,959

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	23,881	7,992	9,709	2,727	44,309	—	44,309
(2)セグメント間の内部売上高	4,094	30	1,164	11	5,301	△5,301	—
計	27,975	8,023	10,873	2,738	49,610	△5,301	44,309
営業利益	4,281	957	844	370	6,454	△104	6,350

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	22,706	10,089	11,732	3,091	47,619	—	47,619
(2)セグメント間の内部売上高	4,669	88	1,174	47	5,979	△5,979	—
計	27,375	10,178	12,906	3,138	53,599	△5,979	47,619
営業利益	3,934	1,366	1,284	463	7,048	△88	6,959